

観光中核施設の経過と G20閣僚会議の誘致について

2018年2月
倶知安町

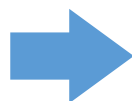
観光中核施設の検討経過(2016年度まで)

- 2013
- 「ひらふ高原地域のまちづくりを検討する会」 を設立
 - 地域ワークショップもあわせて開催



ひらふ高原地域活性化事業計画
及び観光中核施設基本計画策定業務

報告書



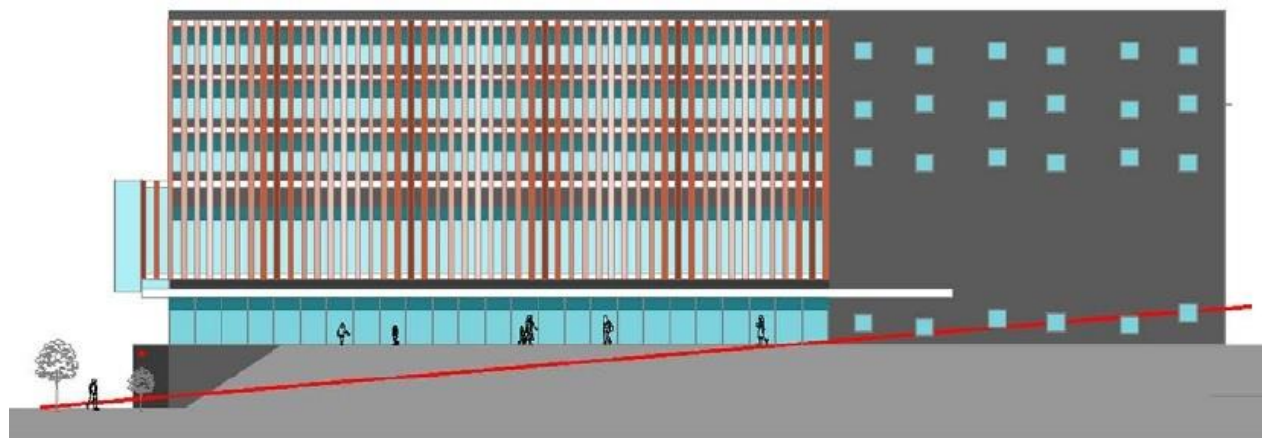
観光中核施設の建設は、
社会資本整備総合交付金を活用

※ひらふ高原地区都市再生整備計画
事業の実施へ

観光中核施設の検討経過(2016年度まで)

2014 社会資本整備総合交付金事業スタート

- 計画期間 5年(2014~2018年度)
- 総事業費 9億4000万円
 - ・ 観光中核施設 6億円(建物を民間が整備して公共分を床買い)
 - ・ 町道二セコ高原山田線の道路改良、街路灯・案内サインの整備 など



床面積(要求機能面積)

| | |
|----|-------------------|
| 地階 | 740㎡(駐車場他) |
| 1階 | 590㎡(交流スペース他) |
| 2階 | 870㎡(コンベンションルーム他) |
| 合計 | 2,200㎡※共有床按分面積を含む |

事業費

| | |
|------|----------------------|
| 設計協議 | 6百万円(計画全体) |
| 床取得費 | 594百万円(2,200㎡×270千円) |
| 計 | 600百万円 |

観光中核施設の検討経過(2016年度まで)

2015.12 観光中核施設のPFI方式による整備を断念

(理由) 建設敷地内に必要駐車スペースの確保が困難

2016.3 観光中核施設を町が整備するという方針転換について、検討会や地域住民に対する経過の説明が不足していると議会から指摘

観光中核施設の検討経過(2016年度まで)

- 2016.4.26 地域説明会①
- 2016.5.17 地域説明会②
- 2016.7.12 地域ワークショップ「みんなで考える観光中核施設！」
- 2016.7.23～8.5 「みんなで考える観光中核施設！」アンケート
- 2016.7.26 国際リゾート都市づくり検討会

2016.8.8 臨時議会で整備関連予算が可決

2016.10 プロポーザル審査を経て、基本設計の契約締結
(株式会社 北海道日建設計)

測量業務、地質調査業務も実施

- 2016.11.16 基本設計に関する地域懇談会①
- 2016.12.6 基本設計に関する地域懇談会②
- 2017.3.2 基本設計に関する地域懇談会③



観光中核施設の検討経過(2017年度)

2017.4.7~8.9 実施設計 (株式会社 北海道日建設計)



➡ 建築工事の入札へ

観光中核施設の検討経過(2017年度)

2017.9.20 工事入札1回目 **不調**

2017.10.12 工事入札2回目 **不調**

(要因) 資材単価の高騰、労働者不足

再度の発注に向け検討



**工事予算の増額、工事着手の遅れによる
スケジュールの見直しが必要**

G20閣僚会議を誘致

北海道新聞 2017.9.16朝刊 1面

G20の閣僚会合 倶知安町誘致へ 19年開催

【倶知安】後志管内倶知安町は15日、2019年に日本が議長国を務める20カ国・地域（G20）首脳会合に伴う閣僚会合を誘致する方針を固めた。近く正式表明し、道に協力を求める。日本開催は、7月のドイツ・ハンブルクでのG20首脳会合で決定した。首脳・

閣僚会合の開催地は外務省が公募するとみられる。

同町ニセコひらふ地区には、海外の要人に対応できる宿泊施設がそろい、大小の会議会場となるホテルも充実していることから、受け入れ可能と判断した。

同町は既に政府側に誘致の意向を伝えており、関係者によると、同町の特性を生かし、情報通信や観光、農業などの閣僚会合を想定している。西江菜二町長は取材に「リゾート地として急成長している町の状況を世界中に知ってもらい、観光地や投資先としての魅力を伝えたい」と答えた。

道内で各国の首脳や閣僚が集まる国際会議は、08年の北海道洞爺湖サミットや10年に札幌市で開かれたアジア太平洋経済協力会議（APEC）貿易担当相会合などがあった。

誘致の状況

愛知県、大阪市、福岡市

首脳会議
(サミット)

倶知安町、仙台市、
新潟市、軽井沢町、
岐阜県、宮崎市、
広島市、北九州市

● ● ●
閣僚会議

◆ ◆ ◆
閣僚会議

★ ★ ★
閣僚会議

G20を誘致する理由

- 海外の要人に対応できる宿泊施設が充実
- 大小の会議会場となるホテルが充実
- リゾート地として急成長する倶知安町を世界中に知ってもらおう
- 観光地や投資先としての魅力を伝える

倶知安町開催の可能性

- 閣僚用のスイートルームが必要（25～50室）
- 随員用、プレス用の客室も必要（2,200室）

→ ニセコひらふエリアのコンドミニウムは
スイートタイプ

エリア内**600室**

二国間会談も開催可能



→ ホテル、ロッジ等 エリア内 **2,700室**

倶知安町開催の可能性

- 国際メディアセンター 2,000m²

→ 総合体育館を活用



メインアリーナ 1640m²

ほかに サブアリーナ(530m²) 柔剣道室(450m²) 研修室 (160m²)

倶知安町開催の可能性

- 会議場（主会場） 300～500m²

ホテル・コンドミニアムの
のレストラン等を模索する
が少々手狭



**国の要件を満たす
ことができない**



写真：2017年G20デジタル大臣会合
ドイツ（デュッセルドルフ）

観光中核施設と会議場

観光中核施設

- ・ 工事予算の増額
- ・ 工事着手の遅れによるスケジュールの見直しが必要

会議場

- ・ 要件を満たす会場がない

庁舎建設や新幹線開業に向けた関連事業等が想定され、町財政への負担を軽減する必要がある

昨年12月議会にて

観光中核施設の建設中止

PPPにより会議場を整備

会議場を作る理由

● ひらふエリアの課題

観光入込が冬期間に偏ることで

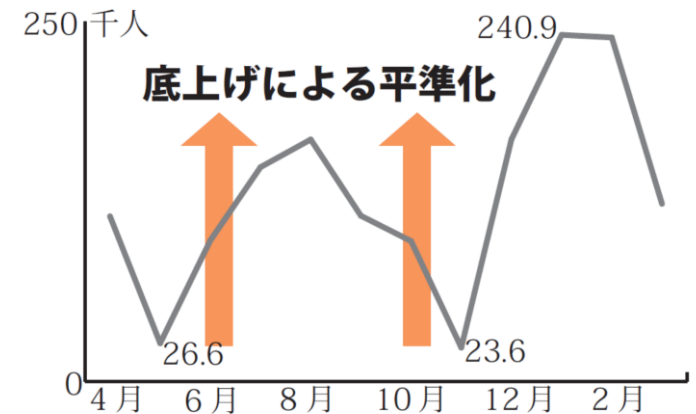
- ・ 宿泊施設の稼働率や雇用体系
- ・ リゾート地区の交通機能

．．．．不安定な状態

● 課題を解消するために

G20閣僚会議の誘致をきっかけに、会議場を核として企業研修や各種学会などを誘致し、閑散期の観光入込の底上げを行う。

平成28年度
倶知安町観光入込客数（月別）



会議場の整備

- 場所 サン・スポーツランド敷地
 - 手法 公民連携方式（PPP）
-
- ・ 事業用定期借地権設定契約を結び、敷地を民間事業者へ貸し付ける(30～50年)
 - ・ 民間事業者は、敷地に会議場と収益施設を整備する（サンスポ解体）
 - ・ 町は会議場を民間事業者から20年間借り受ける
 - ・ 会議場の管理運営は指定管理者制度



会議場の整備

- 土地の貸付料は事業者が提案する額
(最低貸付料5314万円以上で設定)
- 会議場の賃借料は事業者が提案する額
- 指定管理者には管理委託費が発生



- 町は初期投資を抑えられる
- 収益施設を併設することによって土地を高く借りてもらう
(= 会議場賃借料の負担軽減)
- 民間の指定管理者が多く、の会議を誘致



会議場の整備

● スケジュール

2018年

1月 事業者公募要項の公表

3月 提案事業者決定

4月 会議場の整備開始

2019年

5月 会議場の供用開始

6月～ G20閣僚会議

